



文化財総合的把握モデル事業 中間報告会 事業報告

平成22年7月28日

宮崎県日南市

1) 歴史文化基本構想(素案)の概要

日南市歴史文化基本構想の基本方針

日南市は、歴史・文化・伝統など、本市の個性や特色を活かした歴史まちづくりが、市民に誇りを与え、地域に一体感を生み出す最も有効な手段であることを確信し、本構想を策定する。

日南市の歴史・
文化・伝統を再発
見・再評価する



日南市民が地域
の個性に誇りを
持つ



市民と協働する
歴史まちづくりを
推進する

基本構想で謳う主な内容

日南市の歴史的・地理的特性

文化遺産のデータベース

関連文化財群

文化財保存活用区域

歴史まちづくり推進施策 等

地理的特性と関連文化財群・保存活用区域

各地区の地理的・歴史的特性の把握(旧町村単位) 10地区	北郷	酒谷	飫肥	吾田	東郷	油津	細田	南郷	榎原	鵜戸
---------------------------------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

地誌特性による分類 5地区	北部の急峻な山陵									
	酒谷川・広渡川流域とそれを臨む山陵									
					東南部のリアス式海岸					
							南部の緩やかな山陵			
										山陵が背後に迫る東部海岸

統一テーマの抽出	「山の道と海の道」山幸・海幸物語 ～つながり伝える文化財まちづくり～									
----------	------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

飫肥杉美林と坂元棚田		○								
飫肥街道と山仮屋関所関連文化財群	○		○							
飫肥城下町と関連文化財群			○							
港町油津と堀川運河						○				
伊東と島津の中世城郭群	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
榎原神社と門前町									○	
鵜戸山信仰と関連文化財群										○
外浦・目井津・大堂津と関連文化財群							○	○		

地理的特性と関連文化財群・保存活用区域

[10地区区分図]



■ 地理的な位置づけ
北部の急峻な山稜地帯
鉄肥杉林地と畑田開拓地、これらに関わる水運
陸運
近世から近代にかけての鉄肥と宮崎を結ぶ主要路

■ 範囲
北郷(北川内)、酒谷、鉄肥(吉野方)

■ 地理的な位置づけ
山稜が背後に迫る東部海岸地帯
日向神話や薩戸信仰を生んだ、周辺と隔離された
特異な環境

■ 範囲
薩戸

■ 地理的な位置づけ
酒谷川・広渡川流域平野部とそれを望む
丘陵地帯
鉄肥城下町と近代鉄肥の繁栄を伝えるまち
伊東と島津の抗争に関わる城跡

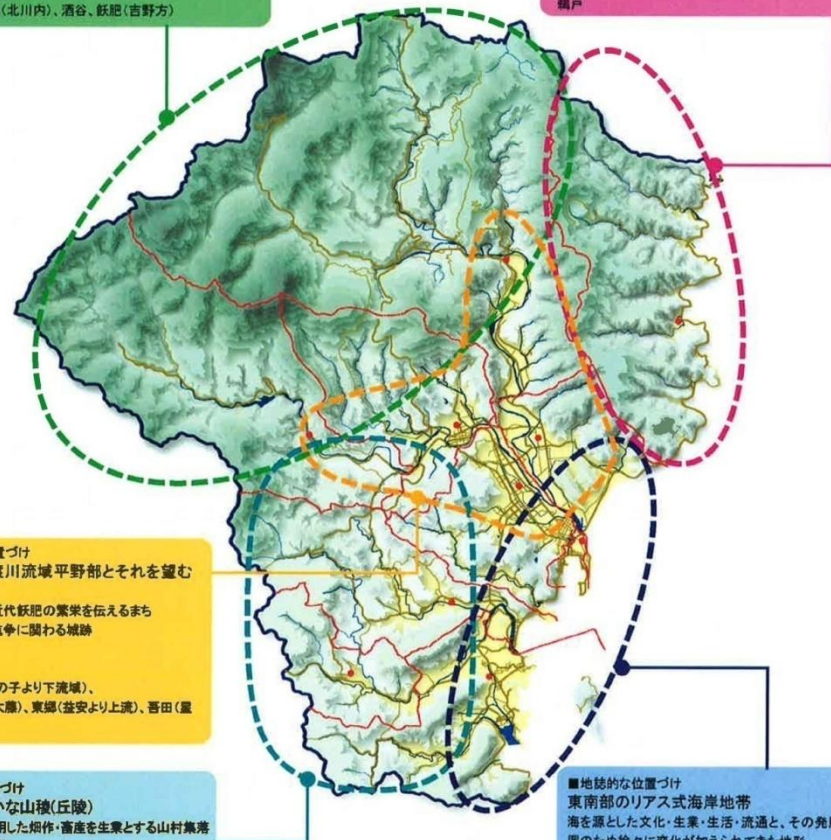
■ 範囲
鉄肥、酒谷(鎮の子より下流域)、
北郷(郷の原、大郷)、東郷(益安より上流)、吾田(屋
倉・戸高)

■ 地理的な位置づけ
南部の緩やかな山稜(丘陵)
シラス台地を利用した畑作・畜産を生業とする山村集落
権原神社と門前町

■ 範囲
細田(毛吉田・萩之嶺・塚田・上方) 権原南郷(涌上、谷
之口)

■ 地理的な位置づけ
東南部のリアス式海岸地帯
海を源とした文化・生業・生活・流通と、その発展・振
興のため徐々に変化が加えられてきた地形

■ 範囲
東郷(風田・平山)、油津、細田(下方)、南郷(中村、
脇元、賢波、津屋野)



関連文化財群

飢肥街道と山仮屋関所
関連文化財群



飢肥杉美林と坂元棚田



飢肥城下町と関連文化財群



鵜戸山信仰と
関連文化財群

伊東と島津の中世城郭群



港町油津と堀川運河



外浦・目井津・大堂津と
関連文化財群

榎原神社と門前町



1000 5000m

日南市歴史文化基本構想の運用イメージ

日南市の歴史
や文化、伝統を
再発見・再評価

- ・高齢者からの聞き取り
- ・地区毎のワークショップ
- ・宮崎県文書センターの活用 他

文化遺産の
データベース構
築

- ・関連文化財群の把握
- ・データベースの公開

歴史まちづくり
条例の制定

- ・文化財保存活用区域の設定
- ・文化遺産審議会の設置

日南市の個性
と魅力の向上

歴史まちづくり
の推進

- 市民との協働
 - ・日南学講座の開設
 - ・歴史まちづくり推進協議会の設置
 - ・地域協議会、公民館活動との連携
- 関連部局（機関）との連携
 - ・歴史的風致維持向上計画
 - ・都市計画マスタープラン
 - ・景観計画
 - ・文化的景観 他

文化財保存活
用計画の策定

- ・市（県・国）文化財指定
- ・登録文化財
- ・説明板・案内板の設置
- ・まちあるきマップ・解説書
- ・伝統芸能の後継者育成

2)「保存活用(管理)計画」策定の考え方

基本方針

1. 市民との協働

2. 文化財情報の発信・共有

3. 文化財について必要な管理・整備

4. 伝統産業(飫肥杉)を活かしたまちづくり

5. 伝統芸能の継承

6. 日南学の推進

実施施策

- ・市内10 行政区(旧町村)の自治組織等を活用した歴史まちづくりの推進
- ・歴史まちづくり推進協議会の設置
- ・地域協議会・市内まちづくり団体等への経費補助や各種支援
- ・地区高齢者の知識・経験等の聞き取りによる「生きた地域史」発掘

- ・文化遺産データベースの公開
- ・まちあるきマップやパンフ、HP等による情報発信
- ・高齢者からの聞き取り成果の共有化(冊子・マップ等に反映)

- ・指定文化財への追加
- ・必要な文化財の保存修理
- ・サイン・説明板の設置

- ・本市の経済を支えた地場産業である飫肥杉林業と関連産業の振興
- ・飫肥杉を活かしたまちづくりを推進。

- ・伝統芸能の後継者育成
- ・地域コミュニティの核として継承されている神楽・獅子舞等の保存、継承

- ・地元学(日南学)講座の開催
- ・地域の歴史や文化、伝統を理解し、地域に誇りを持つ市民を育成
- ・地域の歴史を解りやすく解説する人材の育成
- ・文化遺産をまちづくりに活かすための人材を育成

3)「歴史文化保存活用区域」設定の考え方及び具体の範囲

○保存活用区域の定義(設定方針)

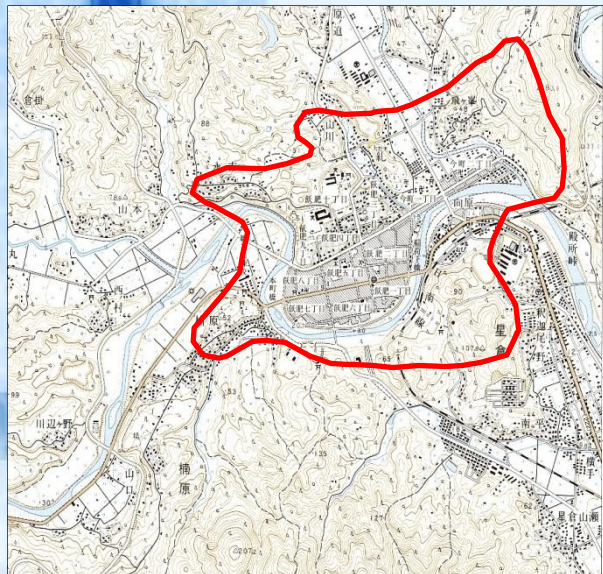
- ・文化遺産が集中していること
- ・地勢的にまとまりがあること
- ・関連文化財群の分布内にあり、核となる文化財があること
- ・文化遺産を核とした地域づくりが行われている、もしくは見込まれること
- ・交流人口の増加が見込まれること

○保存活用区域内での施策

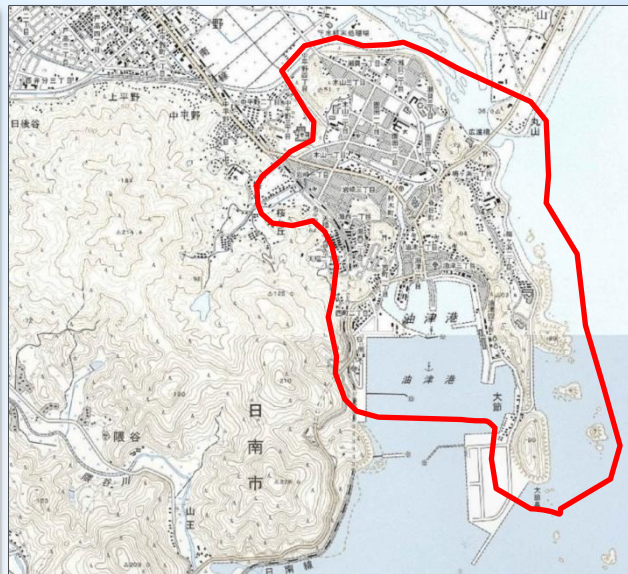
- ・地域づくり団体との連携・支援
- ・行政による重点的な予算措置
- ・データベース登録文化財の周知（マップ作成・サイン設置 等）
- ・現状変更の届出制度

3)「歴史文化保存活用区域」設定の考え方及び具体の範囲

➤ 飢肥地区



➤ 油津地区



➤ 鵜戸地区



➤ 酒谷地区

